

報道関係各位

2017年4月18日
成城大学

成城大学グローバル研究センターシンポジウム

ユネスコの無形文化遺産保護をめぐる

「当事者」と「文化仲介者」としての実務担当者の役割

日程：2017年5月13日（土）10：30-17：00 会場：成城大学3号館3階大会議室

成城大学（東京都世田谷区 学長：戸部 順一）は、成城大学グローバル研究センター（CGS）で提唱し推進している「グローバル研究」（グローバル化とローカル化が同時かつ相互に影響を及ぼしながら進行するグローバル化現象に関する研究）の一環として、このたび、「ユネスコの無形文化遺産保護をめぐる『当事者』と『文化仲介者』としての実務担当者の役割」と題するシンポジウムを開催することになりました。ユネスコの無形文化遺産保護条約が成立・発効して10年以上が経過した今日、グローバルに拡大・浸透したユネスコ無形文化遺産保護の理念や文化政策が、それを受け入れたローカルな場（各国政府や地方自治体、無形文化遺産を保持、継承するコミュニティなど）にさまざまな影響を及ぼしています。その実情や実態を、これまで十分には議論されてこなかった「当事者」と「文化仲介者」としての実務担当者の役割に焦点を当てて明らかにし、今後のより良いユネスコ無形文化遺産保護のあり方を考えてみようというのが本シンポジウム開催の趣旨です。



★本シンポジウムは文部科学省
「私立大学研究ブランディング事業」の一環
として開催されます

開催概要

- 【タイトル】「ユネスコの無形文化遺産保護をめぐる『当事者』と『文化仲介者』としての実務担当者の役割」
- 【日時】 2017年5月13日（土）10:30—17:00
- 【場所】 成城大学3号館3階大会議室
- 【発表者】 佐藤央隆（三島村教育委員会）、清水博之（元・日上市郷土博物館、茨城キリスト教大学）
中島誠一（元・長浜市曳山博物館、西安造形大学）沼田 愛（仙台市教育委員会）
松井今日子（元・北広島町芸北民俗芸能保存伝承館、岐阜市歴史博物館）
村上忠喜（京都市歴史資料館）
- 【コメンター】 小林稔（文化庁・主任文化財調査官）
- 【参加費】 無料どなたでもご参加いただけます。
- 【問合せ】 成城大学 グローバル研究センター
〒157-8511 東京都世田谷区成城6-1-20 TEL:03-3482-1497 FAX:03-3482-9740
E-mail: glocalstudies★seijo.ac.jp ★を@に変更してください。